[調査票] 東京大学社会科学研究所附属社会調査･データアーカイブ研究センターSSJデータアーカイブ
■ 調査番号 0662
■ 調査名 時短アンケート, 2006
※ 本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。

（注）・単位は特に表示のない限り%。
・報告書にない集計結果は数値を表示していない。
・各設問項目において、無回答は集計から除いている。

設問 1 〔SSJDA 注：非公開〕

設問 2 性別

①男性	91.8	②女性	8.2

設問 3 年齢

年齢を記入してください
(平均 37.92)歳

25 歳未満	4.6
25～29 歳	10.0
30～34 歳	19.7
35～39 歳	30.2
40～44 歳	15.5
45～49 歳	8.8
50～54 歳	6.5
55 歳以上	4.6

設問 4 勤務地の所在地

①北海道	4.9
②東北（青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島）	5.9
③北関東（群馬、栃木、茨城）	3.1
④南関東（東京、神奈川、千葉、埼玉）	41.3
⑤中部（愛知、三重、岐阜、静岡、長野、山梨）	12.9
⑥北陸（新潟、富山、石川、福井）	2.8
⑦関西（大阪、兵庫、京都、奈良、滋賀、和歌山）	13.6
⑧中国（岡山、広島、山口、島根、鳥取）	5.2
⑨四国（香川、愛媛、徳島、高知）	2.5
⑩九州（福岡、佐賀、熊本、長崎、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）	7.2
⑪その他	0.6

設問 5 職種

①内勤建築系技術職	12.2
②内勤土木系技術職	6.5
③外勤建築系技術職	24.7
④外勤土木系技術職	26.8
⑤技術研究職	1.3
⑥内勤事務職	15.4
⑦外勤事務職（出張所、作業所勤務）	2.3
⑧営業職（開発も含む）	8.5
⑨内勤その他	1.6
⑩外勤その他	0.6

（設問 5 で、①②と答えた方にお聞きします）

設問 6　内勤技術系としての職種の細目

①設計	44.5	②見積･積算	21.6
③設備	11.5	④その他	22.4

設問 7　職務（役職）

①部課長、営業所長・出張所長・作業所長（いずれも部課長待遇を含む）クラス	23.8
②係長、作業所副所長、主任等の次席クラス	39.4
③課員、係員等、特に役職のない方（現在 OA オペレーター等をされている場合でも、資格上総合職・一般職に区分されている方を含みます）	35.7
④オペレーター等技能職の方	0.2
⑤その他	1.0

設問 8　時間外手当て

①支給対象者	66.0
②支給非対象者	34.0

（設問 9～21 は、作業所勤務（兼務）の方のみ、現在所属している作業所についてお聞きします）

設問 9　作業所の形態（N=3,966）

①単独	63.1
②JV の幹事会社	24.5
③JV の構成会社	9.6
④その他	2.8

設問 10　作業所の配員（JV の場合は全員）（N=3,919）

作業所の配員人数を記入してください

（　平均 6.21　）人

1 人	10.3
2 人	18.3
3 人	16.0
4 人	11.7
5 人	8.1
6～7 人	10.9
8～9 人	6.8
10～11 人	4.5
12～14 人	4.8
15 人以上	8.6

設問 11　作業所の請負金（JV の場合は全体）（N=3,913）

(　平均 20.23　)億円

①5 千万円未満	3.7
②5 千万円～1 億円未満	5.0
③1 億～2 億円未満	7.6
④2 億～5 億円未満	19.2
⑤5 億～10 億円未満	18.6
⑥10 億～20 億円未満	17.5
⑦20 億～30 億円未満	8.1
⑧30 億～50 億円未満	8.7
⑨50 億円以上	11.6

設問 12　工期（N=3,794）

工期を記入してください

(　　)年(　　)ヶ月　　平均 1.79 年

6 ヶ月未満	6.9
1 年未満	23.2
1.5 年未満	26.4
2 年未満	10.7
2.5 年未満	9.7
3 年未満	6.1
4 年未満	8.9
5 年未満	3.2
5 年以上	4.8

設問 13　発注者（N=3,954）

①国土交通省	7.3
②国土交通省以外の中央官庁	3.2
③公社公団	5.9
④都道府県	8.6
⑤政令指定都市	4.1
⑥その他地方公共団体	6.7
⑦民間公益企業（高速道路、電力、ガス、電話、鉄道、石油備蓄、その他）	23.0
⑧民間マンション関連のディベロッパー	15.1
⑨その他民間企業	26.2

設問 14　作業所工事分類（N=3,965）

①建築工事	43.9
②土木工事	47.1
③土木建築工事	3.0
④改修補修工事(リニューアル工事)	4.1
⑤その他	1.9

（設問 14 で、①と答えた方にお聞きします）

設問 15　建築作業所の建物用途（N=1,732）

（複合施設の場合は該当するものすべてを選んでください）

①共同住宅（分譲）	29.0	②共同住宅（賃貸）	15.4
③事務所	13.8	④店　舗・商業施設	15.7
⑤工　場	10.2	⑥倉　庫・物流施設	6.1
⑦劇場、映画館	1.1	⑧競技場、体育館	1.1
⑨学校・教育施設	7.2	⑩医療・福祉施設	12.0
⑪庁舎、官舎	2.0	⑫その他	15.0

（設問 14 で、②と答えた方にお聞きします）

設問 16　土木作業所の工種分類（N=1,856）

①土地造成	5.8	②河　川	3.9
③ダ　ム	4.1	④海　洋	4.3
⑤道　路	28.4	⑥鉄　道	23.8
⑦空　港	0.7	⑧電力・ガス・通信	2.9
⑨上下水道	13.7	⑩処理場	2.3
⑪その他	10.2		

（設問 14 で、②と答えた方にお聞きします）

設問 17　土木作業所の工法・形式分類（N=1,772）

（複数該当する場合は主要な工法・形式を選択してください）

①ダ　ム	4.2	②土　工	12.8
③トンネル	13.6	④シールド	7.8
⑤推　進	4.9	⑥開　削	10.9
⑦橋　梁	20.0	⑧軌道・設備	5.6
⑨河川・海洋土木	6.5	⑩その他	13.7

設問 18　請負契約上（受注時）の休日条件

①4 週 8 休（完全週休２日制）	20.5		
②4 週 7 休	0.3	③4 週 6 休	3.9
④4 週 5 休	0.6	⑤4 週 4 休	8.7
⑥明示されていない	62.9	⑦その他	3.1

設問 19　実施工程上の休日条件（N=3,910）

①4 週 8 休（完全週休２日制）	5.4		
②4 週 7 休	0.8	③4 週 6 休	12.4
④4 週 5 休	6.2	⑤4 週 4 休	42.4
⑥明示されていない	28.1	⑦その他	4.8

設問 20　あなたの勤務する作業所の完全閉所状況（完全閉所･･･宿・日直以外の職員が出勤した場合は閉所とみなさない）

ａ～ｊの各休日における完全閉所状況について
①閉所した　　②閉所していない
でお答えください。

		①	②
ａ．11 月 3 日（金・祝日）	文化の日	23.6	
ｂ．11 月 4 日（土）		19.7	
ｃ．11 月 5 日（日）		80.1	
ｄ．11 月 11 日（土）	**日建協統一土曜閉所日**	29.8	
ｅ．11 月 12 日（日）		78.0	
ｆ．11 月 18 日（土）		14.0	
ｇ．11 月 19 日（日）		77.2	
ｈ．11 月 23 日（木・祝日）	勤労感謝の日	20.8	
ｉ．11 月 25 日（土）		18.6	
ｊ．11 月 26 日（日）		75.9	

設問 21　あなたの所属する作業所で、土曜閉所できない理由を 2 つ以内で選んでください

（N=3,847）

①会社の制度上、休みではない	1.9
②工程が厳しく、土曜閉所を組み込めない	70.8
③竣工までのことを考えると、着工当初より土曜作業を行って工程上の貯金を作りたいため	25.6
④利益を確保するために工程を短縮しているため	11.5
⑤事務処理等が多いので、土曜日に行わざるを得ない	11.9
⑥許認可（道路使用許可等）上、土・日（夜間）作業になる	2.8
⑦改修（改装）工事のため、施設休業日にしか作業できない	5.4
⑧（閉所したいが）上司や作業所職員内に閉所しようとする意識がない	4.6
⑨協力業者が休みたがらない（作業員日給制の問題を含む）	14.1
⑩発注者・ユーザーへの対応のため	12.2
⑪JV の幹事会社または元請会社の作業所運営方針のため	3.8
⑫その他（内容を記入してください）	4.4

（設問 22 から全員にお聞きします）

日建協では 2002 年度より、「統一土曜閉所日」を設定して、土曜閉所推進活動に取り組んでいます。「閉所」というと、外勤者が対象とお考えになられるイメージがあると思われますが、内勤者においても土曜日に仕事をしている方もいらっしゃいます。そのような方たちも含めて、内勤者の方は設問の文言を、自分の所属する部や課などの職場に合う文言に読み替えてお答えください。

（本年は 11 月 11 日が「統一土曜閉所日」です）

設問 22　あなたの職場では 11 月 11 日の統一土曜閉所日の取り組みを実施しましたか

（N=4,009(外勤者のみ)）

①実施した（日付の読み替えを含む）	37.0
②取り組もうとしたが、実施できなかった	26.5
③実施しなかった	32.6
④知らなかった	3.9

（設問 22 で①②③と回答された方にお聞きします）

設問 23　統一土曜閉所日の取り組みは取り組みやすかったでしょうか（N=3,777(外勤者のみ)）

①取り組みやすかった	32.6
②取り組みにくかった	43.8
③わからない	23.6

（設問 23 で①と回答された方にお聞きします）

設問 24　なぜ、取り組みやすかったのですか、2 つ以内で選んでください（N=1,197(外勤者のみ)）

①会社と組合が一体となった通達や通知などの取り組みがあったから	49.0
②会社から通達や通知などがあったから	32.2
③組合から通達や通知などがあったから	18.0
④職場の上司の理解があったから	31.2
⑤その他（具体的にお書きください）	15.1

（設問 25 から全員にお聞きします）

設問 25　あなたの土曜日・日曜日・祝日の休日取得状況（あてはまるものを①～④から選び、日ごとに答えてください）

①当日休んだ
②当日出勤したが、代休･振休を 11 月末日までに取得した
③当日出勤したが、代休・振休は 11 月末日までに取得していない
④制度（慣行）上、休みではない
（注：数値は 1「当日休み」と 2「代休・振休で休み」の合計%）

a．11 月 3 日（金・祝日）	文化の日	63.0
b．11 月 4 日（土）		65.7
c．11 月 5 日（日）		93.1
d．11 月 11 日（土）	**日建協統一土曜閉所日**	68.4
e．11 月 12 日（日）		92.0
f．11 月 18 日（土）		60.5
g．11 月 19 日（日）		91.4
h．11 月 23 日（木・祝日）	勤労感謝の日	59.3
i．11 月 25 日（土）		62.9
j．11 月 26 日（日）		91.6

設問 26　あなたの 11 月の代休･振休を含めた土曜日・日曜日・祝日それぞれの休日取得日数（当月以外の代休・振休を除く）

a．土曜日、b．日曜日、c．祝日　毎に取得日数（0 日の場合は 0）を記入してください
（本年の土曜日、日曜日は 4 日、祝日は 2 日です）

a 土曜日	（ 平均 2.47 ）日	(N=7,450)
b 日曜日	（ 平均 3.68 ）日	(N=7,448)
c 祝日	（ 平均 1.16 ）日	(N=7,438)

	a	b	c
0 日	15.5	1.2	33.2
1 日	15.1	2.2	18.1
2 日	16.4	5.0	48.7
3 日	12.7	10.5	
4 日	40.2	81.1	

設問 27　あなたはどうすれば土休が取得できると思いますか、3 つ以内で選んでください（N=7,449）

①土休が取得できるような人員配置	67.2
②代休取得や振替休日を確保できる体制の確立	35.2
③法的・社会的な土曜日の工事規制	50.4
④発注者の理解	27.4
⑤休日計画表等の作成や工程管理による、計画的土休取得の実施	18.0
⑥労使委員会等による労使の協力体制の確立	4.0
⑦業務の効率化	15.9
⑧上司の意識改革	18.7
⑨自己の意識改革	13.4
⑩建設作業員の月給制確立	11.8
⑪協力業者との打合せと協力	8.5
⑫その他	3.1

設問 28　2005 年 12 月～2006 年 11 月の年次有給休暇取得日数は何日でしたか

取得日数（0 日の場合は 0）を記入してください（N=7,399）

（　平均 2.32　）日

0 日	58.9
1 日	5.4
2 日	7.9
3 日	6.2
4 日	3.6
5 日	5.2
6 日	2.1
7～8 日	2.6
9～10 日	3.4
11～15 日	2.1
16 日以上	2.7

設問 29　11 月 1 ヶ月間の実際の所定外労働についてお答えください。

（ａ）11 月の実際の所定外労働時間（N=7,268）

（休日出勤し、振休・代休を取得できなかった場合はその日の勤務時間を算入する）

（　平均 62.76　）時間

0～20 時間未満	19.2
20～40 時間未満	18.3
40～60 時間未満	17.5
60～80 時間未満	12.1
80～100 時間未満	10.0
100～120 時間未満	8.2
120～140 時間未満	5.1
140～160 時間未満	3.6
160～180 時間未満	2.6
180 時間以上	3.4

（ｂ）そのうち平日の所定外労働時間（N=7,241）

（　　）時間

0～10 時間未満	25.2
10～20 時間未満	10.2
20～30 時間未満	10.7
30～40 時間未満	11.3
40～50 時間未満	11.8
50～60 時間未満	6.6
60～70 時間未満	7.1
70～90 時間未満	8.3
90～110 時間未満	4.1
110 時間以上	4.8

((a)(b)とも 0 時間の場合は 0 を、1 時間未満は四捨五入して、時間単位で記入してください)
(所定外労働の手当支給非対象者も記入して下さい)

設問 30　〔SSJDA 注：非公開〕

設問 31　一年前の同時期（2005 年 11 月）に比べて、所定外労働時間は増えましたか、減りましたか（N=7,377）

①増えた	23.2
②減った	20.2
③変わらない	49.2
④わからない	7.4

（設問 31 で①と答えた方にお聞きします）

設問 32　一年前の同時期（2005 年 11 月）に比べて増えた理由を選んで下さい（N=1,684）

①企業の合理化により、以前より少ない人員で仕事をしているため	27.6
②より多くの利益を生み出すため、以前よりも少ない人員で仕事をしているため	10.2
③以前よりも仕事上の役割や責任が高い職務についたため	11.7
④今まで以上に自分の能力を高めるため、仕事や関係する知識を得たいから	1.6
⑤顧客の要望がより高度なものになっているため	4.6
⑥忙しい作業所または部署へ異動となったため	17.4
⑦工期が足りないため	9.4
⑧突発的な業務が入ったため	7.0
⑨内勤から外勤へ異動になったため	3.5
⑩その他（内容を記入してください）	7.0

設問 33　あなたが残業した主な理由を 3 つ選んでください（N=7,200）

①提出書類が多い	41.1
②残業手当をあてにした生活設計になっている	3.8
③仕事の性格上、早出・残業する必要がある	36.0
④工程が厳しい	26.4
⑤職務を十分果たしたい	27.7
⑥外注業者・協力業者に管理能力がない	3.8
⑦仕事量が多く時間内に処理できない	52.1
⑧職場の雰囲気でなんとなくやっている	4.6
⑨配置の人員が少ない	31.8
⑩総合評価方式による業務（技術支援等）が増えた	3.6
⑪緊急な仕事が多い	27.3
⑫契約範囲以外のサービス業務が多い	4.5
⑬その他	7.8

設問 34　建設業全体で労働時間を短縮するためにはどうしたらよいか、主なものを 3 つ選んでください（N=7,415）

①経営者の意識改革	26.5
②協力会社の育成	12.9
③産業の社会的地位の向上	18.4
④建設産業に働く者の意識改革	25.6
⑤行政及び労使一体となった取り組み	26.2
⑥行政官庁の強力な指導	23.9
⑦発注者による適正工期の設定	51.1
⑧受注時期の平準化	8.7
⑨請負体質の改善	21.3
⑩受注競争の適正化による採算性の向上	25.2
⑪建設作業員の月給制の確立	7.9
⑫法律等による社会的規制	28.8
⑬契約内容の明確化	5.3
⑭その他	3.0

設問 35　労働時間を短縮するため、労働組合に対してどのような制度等の改善を望みますか、主なものを 3 つ選んでください（N=7,343）

①フレックスタイム制度（コアタイム以外の出退勤は自由であり、週間･月間勤務時間を管理する）の導入	16.9
②異動時休暇制度の充実	30.0
③統一土曜閉所運動の実施回数の増加	14.9
④ノー残業デーの推進	22.4
⑤時差出退勤制度　（時差出退勤を行うが、1 日の勤務時間は変わらない）の導入	9.4
⑥代休取得のための環境整備	44.6
⑦完全週休 2 日制の導入、定着	39.6
⑧年次有給休暇の計画的付与制度の導入	23.2
⑨時短に対する意識改革運動の強化	19.4
⑩年間休日の計画的取得（休日のカレンダー化）の推進	10.2
⑪半日年休制度の導入	8.5
⑫年末年始や夏季休暇（休日）の増加	31.3
⑬その他	5.7

設問 36　作業所異動時休暇（外勤者を対象に、作業所を移る際に付与される休暇･休日）についてお答えください。

（ａ）あなたの会社には上記の趣旨の制度がありますか

①制度がある
②制度はないが、運用（労使慣行）はある
③制度はない
④知らない

（設問 36(a)で①、②と答えた方にお聞きします）

（ｂ）2005 年 12 月～2006 年 11 月においてあなたは作業所異動時休暇の対象者でしたか

①はい　　②いいえ

（設問 36(b)で①と答えた方にお聞きします）

（ｃ）2005 年 12 月～2006 年 11 月の作業所異動時休暇の取得日数は何日でしたか

取得日数（0 日の場合は 0）を記入してください

（　平均 2.07　）日

0 日	41.0
1 日	6.2
2 日	13.7
3 日	16.9
4 日	6.5
5 日	10.7
6 日以上	5.0

設問 37　どうすれば作業所異動時休暇が取得できると思いますか、2 つ以内で選んで下さい

（N=3,951(外勤者のみ)）

①会社の強力な指導、休暇を指示	58.8
②異動前の作業所長の意識改革	23.1
③異動後の作業所長の意識改革	7.5
④異動辞令発令者の意識改革	17.7
⑤異動日の本人及び作業所への通知の明確化	16.1
⑥取るべき日数、時期の明確化	16.9
⑦早めの異動命令	27.5
⑧制度の周知徹底	6.5
⑨異動時休暇の制度化	12.2
⑩制度化後のフォロー	4.8
⑪その他（内容を記入してください）	1.5

設問 38　日建協では、労働時間短縮へむけた意識高揚の一環として「機関誌 Compass11 月号」にて、昨年度ご協力いただいたアンケート結果を中心とした時短特集記事を掲載しています。Compass11 月号をご覧になりましたか。

①特集記事を読んだ	36.5
②他の記事は読んだ	5.1
③読んでいない	55.8
④Compass が届いていない	2.5

設問 39　あなたは現在の建設業に魅力を感じていますか

①大いに魅力を感じる	5.2
②まあ魅力を感じる	33.2
③あまり魅力を感じない	48.7
④まったく魅力を感じない	12.8

（設問 39 に①、②と答えた方にお聞きします）
設問 40　どのような点に魅力を感じますか。3 つ選んでください（中でも「とくに」感じる点は回答欄の二重四角に記載してください）

	（3 つ選択）↓(N=2,865)	（特に魅力を感じる点）↓
①個人に任せられる仕事の幅が広い	38.7	26.5
②産業に将来性がある	2.6	1.3
③活力のある産業だ	5.2	2.0
④全般的に労働条件が良い	1.4	0.4
⑤仕事に安定性がある	3.6	1.6
⑥創造する喜びがある	66.2	36.4
⑦産業の社会的役割に誇りを感じる	30.9	9.9
⑧建設したものが後世に残る	55.5	14.4
⑨多くの人と共同して仕事をする喜びがある	39.7	4.5
⑩自分の能力が生かせる	20.1	2.5
⑪その他	3.4	0.5

（設問 39 に③、④と答えた方にお聞きします）
設問 41　建設業に魅力を感じない理由を３つ選んでください（中でも「とくに」感じない点は回答欄の二重四角に記載してください）

	（3 つ選択）↓(N=4,548)	（特に魅力を感じない点）↓
①前近代的な体質が残っている	23.1	14.9
②賃金水準が低い	46.4	30.0
③人事諸制度（人事考課、職制･職格制度等）が不十分	8.7	2.6
④労働時間（所定内･外）が長い	51.7	21.8
⑤福利厚生面での待遇が悪い	6.3	0.7
⑥受注時の不透明さ等、建設業における商慣習が不明瞭	13.3	3.2
⑦建設業の請負体質（対発注者）	27.5	5.6
⑧「横並び」「横睨み」意識が強すぎ、企業の独自性が出しにくい	5.6	0.8
⑨男女不平等	2.7	0.7
⑩建設産業の社会に対する貢献度に対して、社会的な評価が低い	33.6	8.1
⑪業務上災害が多い等、危険が多い	8.1	0.9
⑫産業の将来像がない	37.7	9.3
⑬転勤・異動が多い	11.7	1.0
⑭その他	1.8	0.5

（女性組合員の方にお聞きします）

設問 42　建設産業の魅力向上にむけて、女性組合員の働く環境を整備することも、大切な取り組みのひとつと考えます。今後機会が与えられれば、従事してみたい職務はありますか。(N=573)

①外勤技術職（施工管理）	2.1
②内勤技術職（設計、研究開発業務など）	6.5
③外勤事務職（作業所勤務の事務全般）	10.1
④経営企画、事業企画	2.3
⑤広報	4.4
⑥内勤事務職（人事、総務、経理、営業事務など）	7.2
⑦営業職（不動産、都市開発を含む）	3.7
⑧現在の職種のままでよい	42.1
⑨現在の職種のままでよいがさらに高度な職務	20.4
⑩その他（内容を記入してください）	1.4

（すべての方にお聞きします）

設問 43　あなたはご自身の健康に対して不安を感じていますか

①不安がある　66.5　②不安はない　33.5

設問 44　特にどういう項目に不安を感じていますか、3 つ以内でお答えください (N=5,507)

①職場・作業環境への安全面での不安	15.6
②受動喫煙の問題	12.9
③成人病への不安	49.2
④長時間労働による過労ストレス	62.4
⑤交代勤務・変則勤務によるストレス	8.1
⑥業務の増大、成果主義の導入によるメンタルヘルス問題	45.0
⑦職場の人間関係によるメンタルヘルス問題	26.2
⑧職業病への不安	9.1
⑨その他	6.5

（作業所勤務の方にお聞きします）

設問 45　今年度日建協では、労働時間短縮にむけて作業所の適正工期の実現にむけた活動を進めています。あなたの従事する作業所の工期についてお答えください

（ａ）着工時より適切な工期が確保されていましたか

①必要以上にあった	2.8
②適切であった	43.8
③不足していた	53.5

（設問 45（ａ）で③と答えた方にお聞きします）

（ｂ）あとどれくらいの工期が必要だと思いますか。また、その理由は何ですか。（理由を記入してください）

①１日～７日	1.2
②８日～１４日	3.8
③１５日～１ヶ月	18.8
④１ヶ月～２ヶ月未満	33.3
⑤２ヶ月～３ヶ月未満	18.9
⑥３ヶ月以上	24.1

（すべての方にお聞きします）
設問 46　時短に関するご意見をご記入ください
別紙回答欄にご記入ください

ご協力ありがとうございました